

せとうちちょう 議会だより 第167号

平成 29 年 10 月発行



建設の進む古仁屋休憩施設 兼 コミュニティ施設（仮称）

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会
〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津 23 番地

こんなことを決めました 第3回定例会 9月8日～22日

第3回（9月）定例会では、決算議案11件、補正予算議案9件、条例改正議案1件、契約議案3件、その他議案3件の計27件の議案を審議し、それぞれ可決しました。

また、平成28年度各会計決算議案については、決算審査特別委員会（委員長 池田啓一、副委員長 元井直志）を設置して審査を行い、最終日に委員長から審査報告がなされ、意見書を町当局へ提出しました。（各会計決算額状況については町広報誌に掲載のため、割愛しました。）主な議案の要旨は次のとおりです。

古仁屋漁港可動橋補修工事請負契約締結

主な工事内容は、可動橋・門構撤去・設置一式、海側門構基礎断面修復一式、門構調整すえつけ一式、門構補修塗装一式、仮設工一式を実施するもので、鹿児島ドック鉄工（株）が6588万円で契約しました。

イノシシ侵入防止策 売買契約締結

鳥獣被害対策実践事業でイノシシの被害を防止するため侵入防止策（金網柵）を購入するもので、（有）古仁屋農産が1036万0440円で契約しました。

町単独古仁屋上水道 管理道路整備事業請負契約締結

主な工事内容は、排水構築物工一式、法面工、床版橋工2箇所であります。（株）勇建設と6296万4千円で契約しました。



可動橋と新船フェリー

一般会計補正予算 （第2号）

主な内容は、総務費の「財政調整基金費」2億3653万2千円、「公共施設維持管理基金費」931万8千円を積立金として、衛生費「一般廃棄物処理施設建設事業費」に2303万9千円、土木費「土木施設維持費」1694万6千円、「住宅管理費」1599万円、災害復旧費「農林水産業施設災害復旧費」1億2328万1千円、「公共土木施設災害復旧費」2億0288万4千円をそれぞれ追加し、公債費「元金」から9680万円を減額するものです。総額5億7512万7千円を追加しました。

一般質問

第3回（9月）定例会では、9名の議員が町政全般にわたり、質問・提言を行ない議論を交わしました。一部を要約して、紹介いたします。

なお、一般質問の詳細については町立図書館にて「会議録」をご覧ください。



柳谷 昌臣議員

世界自然遺産登録に伴う取組について。

議員 市街地の駐車場不足の問題はどのようになっておりますでしょうか。

町長 町といたしまして、現在のところ関係課や商工会等と協議しておりますが、大湊棧橋駐車場の立体化を中心に検討していきたいと考えております。

議員 クレジットカードを利用する方が増えてきている一方、使用できる店舗が少なく感じます。対応をお願いします。

町長 今後も増加が見込まれる観光客や地元消費者の利便性も勘案して、商工会と連携しながらカード決済の普及に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

子育て環境について

議員 市街地の公園の草刈りは、年に何回行っておりますか。

町長 建設課が管理する市街地の草刈りにつきましては、業者に依頼し伐採を実施しておりますが、職員による伐採も実施しています。

なお、28年度の各公園の伐採回数は6回で内訳は業者が5回、職員による伐採が1回です。
水産振興課が管理している市街地の公園は、古仁

屋漁港緑地公園と松江公園の2箇所です。草刈り等につきましては、職員により大型連休や各種イベント前を中心に年5回以上は実施しております。

議員 新しい遊具の設置、更に雨天時に遊べる場所の設置が必要だと思えますがどうでしょうか。

教育長 清水公園の遊具の設置については、平成26年度に新しい遊具を設置したところであります。



清水運動公園内にある遊具

また、雨天時に遊べる場所の設置については、現在は清水公園の抜本的改修計画の中で、検討してまいりたいと考えております。



中村 義隆議員

世界自然遺産登録について

議員 来年の夏に遺産登録を目指していますが、その受入れ態勢の宿泊施設や、本町への交通手段・案内ルート作り、ツアーガイドの育成などが重要です。

町長 世界自然遺産登録が予定されている主要な地域につきましては、奄美群島広域事務組合が育成・認定しているエコツアーガイドを中心に紹介していく予定であります。
なお、本町におきまして

は、特定離島ふるさとおこし推進事業を活用いたしまして島案内人を育成しており、加計呂麻島や請・与路島の案内につきましては、積極的に活用を図ることであります。

議員 名所、観光地のトイレの清掃状況をうかがいます。

町長 ヤドリ浜やホノホシ海岸、高地山園地、油井岳展望所、ナハンマ(西古見)や安脚場戦跡公園など商工観光課で設置しています名所・観光地トイレは現在21箇所あり、集落や個人に清掃を含めた管理業務を委託しております。

町民福祉について

議員 本町の特定健診の受診率をうかがいます。

町長 特定健診の受診率は平成27年度が30・9%、平成28年度が32・8%で、依然として県内ではかなり低くなっております。

議員 平成27年度には県内43市町村でワーストワンであります。受診することによって早期発見、早期治療により医療費をおさえ、保険料もおさえることになりまます。みんなで特定健診を受けましょう。

防災について

議員 8月の台風5号について。

国道・県道・町道が交差する大島石油近辺は大雨のたびに冠水しますが、何か対策はないものか、うかがいます。

町長 低い土地における冠水の要因は、海面潮位の上昇時に豪雨が重なり、内水の排除が著しく困難で、道路の冠水や宅地への浸水被害が生じていると考えられます。過去にも幾度となく冠水し、道路の利用者や周辺住民には、多大な影響をおよぼしていることは認識しております。

昨年度に実施した、冠水調査の結果を踏まえ被害の解消を図るためには、強制排水や地下貯水槽の設置が効果的であると考えられますが、用地を含む事業規模、それらに伴う予算等が膨大になることが想定されます。現在、推進している他の事業進捗、並びに今後予定している大型事業等にかかるとる予算等を踏まえながら、早期に事業推進ができるよう、関係機関と連携を図りながら、引き続き検討を進

めていきたいと考えております。



保安署から大島石油へ

武原電気から大島石油

議員 ガソリンスタンドが冠水していますので油の流出など非常に危機感を感じておりますが、国道58号線ですので国営事業でできないものか、調査していただきたいと思います。



安 和弘議員

敬老祝金について

議員 敬老祝金のカットについては、3月の議会では、50%カットの議案が8対1という大差で否決されました。それがわずか3ヶ月後の6月議会で、今年度が30%、そして来年度から、50%カットという町側の提案が6対3で可決され、85才以上のお年寄りの祝金が減らされる事が決まっています。

我々のこの瀬戸内町を、ここまで支えてこられた敬老者の皆さんに対し、何と冷たい仕打ちでしょうか。そこまですないと、瀬戸内

町の財政が破綻してしまうのでしょうか。

前町政の頃も、2度敬老祝金の削減が提案されましたが、2度とも、議員諸侯の猛反対にあい否決されています。賢明な選択であったと言えるでしょう。鎌田町政は、就任2年目にして他の事業にはメスを入れることなく、敬老祝金のカットという暴挙にでました。今一度、しっかりと腰を落として考えたいうえで、白紙撤回されることを望みます。

町長 高齢化の進行に伴い、敬老祝金の支給総額は、年々増大し、ここ10年で2倍にふくれ上がっています。また、財源を過疎ソフト債（借金）に頼ることにより将来世代に負担を負わせていることから、本事業を継続可能なものとするため

にも、支給内容の見直しを避けて通れない課題となっていたため、支給対象は変えずに、金額について見直すこととしました。

議員 それでは、来年度カットの50%を、今年度カットの30%にすえおくことはできないでしょうか。

町長 撤回する考えはありません。



ツワブキを採るおばあちゃん



渡島 芳臣議員

フェリーかけるまの運航について

議員 新聞に投稿された文面ですが、町民、観光客からもフェリーに対する苦情、不満の問い合わせが多く、情報発信不足で観光客にも混乱させている。

行政は物事の段取りがスローペースなのか、危機管理をもっと重視すべきです。「フェリー運航を最優先事項で善処される事をお願いします。」と新聞に投稿されましたが、どのように対処されたのかがいいます。

町長 フェリーにつきまし

ては、可動橋の修復工事の遅れや旧船フェリーの機関故障により、皆様に大変ご迷惑をおかけいたしております事に對しまして、深くおわびを申し上げます。

議員 新聞の記事で、「フェリーかけるま問題、瀬戸内町対応に募る不満。」との見出しで、加計呂麻各校区での説明会の内容がリポートされています。「なぜ説明がない、島民を軽視しているのか。説明が遅すぎる。新造船の修理は終わっているのに、早く使う方法は考えられなかったのか。」等の意見が上がった様ですが、この事に対する説明内容及び感想をつかがいます。

町長 新造船による運航も検討いたしましたが、Aコープ前の旧岸壁は水深が浅く、浚渫（しゅんせつ）の

必要があり、売却前であった旧船フェリーを再利用することを決定いたしました。

議員 フェリー発着用可動橋の修理復旧に向けての対応が進まない理由、今後の工事手順、完了予定をうかがいます。

町長 補修工事にあたり関係者との間で工法協議に想定以上の時間を要し、大幅に遅れる結果になりました。可動橋工事の完成は来年2月下旬を見込んでおります。

議員 新船フェリーのAコープ前岸壁からの発着に向けての整備箇所、新船フェリー就航に向けての計画をおたずねします。

町長 新船フェリーが旧岸壁に接岸出来るよう浚渫

(しゅんせつ) 工事を行うものであります。就航計画につきましても、試運転を実施して、その結果により新船の就航日を決定したいと考えております。

議員 台風時の船舶の避難場所は指定されているのか、浦地区の港は避難場所として最適の様ですが、他の船舶も安全に避難出来るように、取付け道路、係留施設、海底の浚渫工事等整備する事は出来ないものか、うかがいます。

環境整備について

あります。

議員 伊須集落の導流堤かさ上げについては、集落からの陳情を受け、調査も行い、県と協議をして進めていくとの事であったが進展がありません。この進捗状況をおたずねします。

町長 県と協議をし検討した結果、平成30年度採択予定である県営中山間地域総合整備事業において、かさ上げ工事を要望しております。



浦地区のいま

町長 避難場所として現在、県管理の古仁屋港が指定されています。漁協の方から浦地区、阿鉄地区への係船柱増設の要望を受けておりますので、年次的に整備を図っていく考えです。



澤 佳男議員

台風5号接近時における避難指示の発令について

議員 避難指示を発令するに至るまでの経過、避難指示の意味を説明していただきたい。

町長 「避難指示(緊急)」を発令するに至った経緯につきましても、まず8月4日(金)9時00分に、台風5号にともなう態勢協議のため臨時課局長会議を開催し、同時刻、災害警戒本部を設置しました。

その後、警戒態勢の充実・強化をはかるため、16時00分に災害対策本部を設置し、第1配備態勢(職員35名)をとり、あわせて避難情報の「避難準備・高齢者等避難開始」を、町内全域に発令しました。

翌日の8月5日(土)、4時46分に気象庁と鹿児島県から「土砂災害警戒情報」が発令され、名瀬測候所からの連絡により、「50年に

1度の大雨となる可能性がある」との情報が入ったことから、町内全域に「避難勧告」を発令しました。

その後、6時46分、6時59分の2度にわたり、気象庁から本町に「記録的短時間大雨情報」が発表されました。

これを受けて、鹿児島県河川砂防システム、気象庁防災情報提供システムを活用した情報収集をおこない、雨量解析等もふくめて総合的に判断し、また、土砂災害等による人的被害の発生する可能性が非常に高い状況である、と判断されたことから、8時00分、町内全域に対し「避難指示(緊急)」を発令しました。

「避難指示(緊急)」の意味につきましては、災害の発生時において、自治体が発令する避難情報です。

まず、「避難準備・高齢者

等避難開始」、次に「避難勧告」、最後に、「避難指示(緊急)」となります。

「避難指示(緊急)」の発令時の状況の一例として、災害の起こる前兆とみられる現象の発生や、切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高い、と判断された状況。人的被害が発生した状況などとなっております。

議員 高齢者、障害者など、一人で避難することが困難な住民への、具体的な避難対策を説明していただきたい。

町長 台風が接近することが予想されている場合は、事前に避難を呼びかけ、老人ホーム等へのショートステイを利用することで避難をしています。

また、援助が必要と思わ

れる方については、災害時要援護者として登録し、要援護者の支援協力者及び緊急連絡先等を記載した「緊急連絡カード」を発行し、玄関先など自宅内の目につくところへの掲示を呼びかけ、支援者等への連絡が取れるようにしています。



死者12名を出した古仁屋土砂災害(平成2年)



榊 藤光議員

加計呂麻島における多目的公園の整備計画について

議員 子どもたちの健康増進、自主性、社会性、想像力を高め情緒豊かな成長を願うには、遊具を使った遊び場が必要です。また、グランドゴルフ場等を備えた多目的公園について、お

うかがいたします。

教育長 各学校に簡易な遊具が設置されておりますが、本格的な遊具、公園等は設置されていません。町といたしましては現在、長期振興計画、観光振興計画と併せ、設置に向け計画をいた

しているところであります。

空き家利用について

議員 本町には約500軒の空き家がありますが、この空き家を利用して郷友会・各集落・町当局による観光宿泊施設公社を起業するお考えはないか、おうかがいたします。

町長 現時点で観光宿泊施設公社の起業は考えておりません。しかしながら、空き家の利活用につきましては、郷友会の協力をいただきながら、各集落・町当局が連携して、進めていかなければならない問題、ということ認識しております。

「フェリーかけろま」について

議員 加計呂麻島において、

これまでの経緯説明会をされた様ですが、どの様な意見が交わされたのか、おうかがいします。

町長 島民からの意見につきましては、情報の発信が遅れたこと、新船の操作性や衝突の原因、修復の予算、費用負担と賠償などがありました。なかでも特に多かった意見が、代船による高齢者の乗り降りについて考慮して欲しい、と言ったことがあります。

議員 そのほかには、なかつたですか。

商工観光課長 「新船を売却できないか、」との質問もありました。

議員 加計呂麻住民が「安心・安全」を確信するためにも、この「フェリーかけ

ろま」に関する計画の過程を再度検証して、設計においても科学的検証をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

町長 現在の状況が落ち着いたら後に、改めて検証したいと思います。

「チームせとうち」について

議員 町長直轄の「チームせとうち推進室」の設置はできないか、おうかがいいたします。

町長 人と人の繋がりを大切に「チームせとうち」をより大きく成長させていきたいと思っております。

議員 議員がご提案している「チームせとうち推進室」の設置につきましては、事務改善審議会の中において、審議・検証していきたいと考えています。



諸鈍シバヤ（加計呂麻島）



池田 啓一議員

フェリーかけろまについて

議員 フェリーが就航してから、現在までを簡易に説明してください。

町長 初代フェリー、昭和52年、古仁屋瀬相間就航開始。二代目フェリー、平成6年、生間へも就航開始。三代目新船フェリーかけろまは、平成28年12月1日に就航、同月29日に機関故障のため古仁屋漁港可動橋へ衝突いたしました。

新船フェリーは、平成29

年1月4日には修理が完了し、運航可能な状態ではありましたが、衝突により可

動橋が使用できなくなったため、運休しております。

この間、代船運航とし、可動橋の復旧には長期化が見込まれたため、旧棧橋を臨時的に使用できないかなど、運輸局と協議を行っておりました。しかしながら、旧棧橋使用にあたって新船フェリーでは喫水の関係で接岸できないことが分かったため、3月から旧船フェリーの運航を再開しておりました。7月12日に、旧船フェリーが機関故障をおこし、代船運航をしておりますが、8月24日から運航を再開し現在に至っております。

議員 新船フェリーは、運休中ですが要因は。

町長 古仁屋漁港可動橋が使用できないため、運休しております。



行き交うフェリー（旧船・新船）

議員 4年も費やして、設計建造したわりには、風に弱い、接岸にくい、その他、問題が多すぎる。

議員 エンジントラブルのその後、補償問題は。

町長 メーカー側からエンジン以外の二次的な被害についての補償

はできない旨の回答がありましたので、現在、弁護士に相談しております。

議員 現状と今後について、うかがいます。

町長 現在は、旧船フェリーによる運航を行っているが、旧岸壁前の浚渫（しゅんせつ）工事が完了しましたので、新船

フェリーによる運航の再開を目指しているところです。

議員 あらゆる事態を想定し、対策をマニュアル化、そして迅速な対応を。町内外への情報公開は速やかに。また、現状を含め親切丁寧に。

産業振興について

議員 観光業の現在の課題と今後の対策について、うかがいます。

町長 課題としては、宿泊施設の不足による通過型観光となっていることです。

今後は、町の特産品をかためた、地域にお金の落ちる仕組みづくりに、取り組みたいと考えています。

議員 市街地の大型ホテルの誘致対策として特区制度

の導入を。

議員 観光客の増大による町の振興、特に6次産業は大事だと思えます。対策をうかがいます。

町長 これまでの取組を踏まえ、新たに6次産業化推進戦略の策定を図ることで本町の目指す方向性を明確にし、ソフト面・ハード面、

一体的な6次産業化の推進に取り組んでまいります。

議員 林業にも新しい産物があると聞いていますが、うかがいます。

町長 新しい産物とは、鯉節工場への薪の出荷だと思えます。条件が整えば輸送コスト支援事業を受けられるよう、努力していきたいと考えています。



元井 直志議員

廃校等の活用について

議員 現在の廃校の活用状況は。

町長 旧節子小中学校を「(株)奄美有機農業研究所」に、押角小中学校を「NPO法人かけるま海と森の学園」及び、個人に貸付して有効活用を行っております。

議員 未活用廃校の、これからの活用計画は。

町長 年に数回、伐採等の維持管理を行っておりますが、施設の老朽化が進み、

貸付けするにはかなりの補修及び、耐震診断等の費用が生じるものと思われます。今後協議、検討を行いたいと考えています。

議員 休校のこれからの可能性は。

教育長 今年度における休校は、小学校(須子茂・俵・久慈)で3校、中学校(伊子茂・池地・薩川・久慈・与路)で5校であります。

各校区における、未就学児及び小中学生の状況を調査した場合、伊子茂・与路中学校においては、平成30年度における再開校を予定しており、池地中学校においても数年後の再開校が予想されます。

その他の学校については、対象児童生徒の状況を見通した場合、再開校については、現時点では厳しいものがある

と考えております。

また、現在開校している極小規模校におきましても、児童生徒数の減少により、休校が危惧されているところであります。

人口減少について

議員 対策としてどのような事を考えているのか。

町長 大都市圏でのふるさと帰帰フェア等により、移住希望者への相談対応や移住交流・出会い交流ツアーを実施し、また、移住体験住宅を設置(嘉鉄・押角)し、本町で実際に生活体験をすることも、移住につながっています。

議員 移住以外の対策はあるのか。

町長 「瀬戸内町まち・ひ

と・しごと創生総合戦略」の中でも、人口減少に歯止めをかけるための基本目標を掲げており、「安定した雇用の創出」と「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」事業について、取り組んでいるところであります。

創出」につきましては、平成27年度に「企業立地等促進条例」を策定、平成28年度には「起業家支援補助金要綱」を策定し、本町の地域経済活性化及び雇用の機会の拡大を図る体制づくりを整えています。

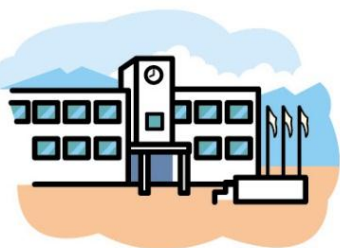
なお、「安定した雇用の

町長

町民や地元企業からの要望を受けての陳情・営業活動にとどまらず、本町の魅力や可能性を、世界に発信して行くことが将来につながる最も重要な事であると考えております。



移住体験住宅(嘉鉄)



防災に強いまちづくりについて



向野 忍議員

議員 台風5号により今回も古仁屋市街地及び集落において床上、床下浸水の被害が発生しました。古仁屋市街地の冠水対策についてうかがいます。

町長 昨年度に実施した冠水調査の結果を踏まえ、強制排水や地下貯水槽の設置が効果的であると考えられますが、用地を含む事業規模、予算等が膨大になることが想定されます。現在、推進している他の事業推移、予定している大型事業等にかかる予算等を踏まえなが

委員会活動

ら、早期に事業推進ができれば、関係機関と連携を図りながら、引き続き検討を進めていきたいと考えております。

議員 集落の根本的防災対策についてうかがいます。

町長 極力被害を軽減できるように、集落内河川等を含む内水処理の維持に努めていきたいと考えております。

請島、与路島の廃棄物処理計画の再構築について

議員 請島、与路島のし尿処理、及びゴミ処理対策の現状と、今後の計画等についてうかがいます。

町長 し尿貯留槽の清掃、補修等で延命化を図っておりますが、貯留槽が老朽化

している現状であります。今後は請島地区、与路島地区の方々と協議し、意向を把握したうえで、新たな対策を講じていきたいと考えております。

救急救命態勢の充実について

議員 救急艇「おおとり」新造船建造の進捗状況や、資機材等の充実についてうかがいます。

町長 現在、建造に向けた基本的な仕様書が示されたところであり、平成30年度に建造、平成31年度に運航開始を予定しております。

資機材等の充実については、患者専用ベッドと補助ベッドの2台を設置、救急救命士の応急処置が行えます。ほかに約24種類の救急資

機材等の配備を計画しております。

議員 与路・請・加計呂麻島の外海有人離島を抱える本町において、今後、観光客等の増加が見込まれる中、現在の分署職員人員配置で十分か、うかがいます。

町長 定員27名であります。が1名不足が生じています。甲乙部隊で編成する当務の職員は、加計呂麻分駐所に3名、消防分署に1日平均5〜6名体制で当日の勤務についております。救急

出動が重なった場合には、消防分署に人員がいらないという場合も多々あるのが現状です。将来的には、職員の増員も視野に入れて、検討すべきものと考えております。

議員 水難事故等の発生時

に、より迅速な対応で人命救助に当たることのできる、水難救助隊の設置が必要不可欠であると思うが、見解をうかがいます。

町長 消防分署を基地として、各関係機関と連携を図りながら、水難救助隊（班）の編成について、検討してまいりたいと考えております。

第3回定例会では、総務経済常任委員会（池田啓一委員長）・文教厚生常任委員会（元井直志委員長）に付託されていた案件に対しての委員長報告が、なされました。（要旨は次のとおりです。）



係留中の救急艇 「おおとり」

陳情4号

『嘉徳海岸侵食対策事業の早期実現について』審査報告

平成29年9月14日に、建設課長等に同行を求め、嘉徳区長出席のもと、現地調査、意見交換を行いました。

委員より「集落の意見を尊重して、早急に対策を立てていただきたい」との意見が出され、採決の結果、全会一致で採択すべきものと決定しました。

以上の審査を通じ、次の意見を当局に申し入れいたしました。

集落民の切実な要望に対して、町におかれましては、大島支庁瀬戸内事務所と緊密な連携を図り、一刻も早く海岸侵食

対策事業が実施されますよう、特段の努力をされたい。

文教厚生常任委員会

4月24日阿木名小中学校からスタートした学校訪問は、6月1日の諸鈍小中学校までの6日間約2ヶ月にわたるロングラン調査訪問でした。

ほとんどの学校で児童生徒減少に悩んでいます。ふるさと留学制度は、それなりの成果はあげていますが十分とは言えません。

要望事項の一部を記載します。

- ① 渡り廊下の老朽化、破損、修理、新設等。
- ② 教室が暑いのに扇風機もない、あっても故障して使えない。
- ③ 水道からさびがでる。
- ④ 雨漏りがする
- ⑤ 水はげが悪い。

⑥ 1丁といいなから、生徒に十分な機器が配置されていない。

⑦ 教員住宅が不十分。

児童生徒は、年々成長していくわけですから一刻の猶予もできません。今しかできない教育を念頭に、格別の配慮を当局にお願いいたします。



現地視察をする総務経済委員（嘉徳）



現地を確認する文教厚生委員

決算審査意見(10項目)を町へ提出

平成28年度瀬戸内町各会計決算審査特別委員会審査意見

1. 町税・使用料等の徴収態勢の強化を図り、担当課が連携をして、一丸となった滞納対策に努められたい。
2. 各特別会計の運営は、独立採算性に基づき、一般会計からの繰入れに委ねることなく、健全な運営に鋭意努められたい。
3. 世界自然遺産登録に向けて、町民の環境に対する意識の向上、及び機運の醸成を図るとともに、本町への拠点施設の設置促進に努力されたい。
4. 「公共交通あり方検討委員会」等において、地域活性化策も含めて検討・協議し、利便性の高い持続可能な公共交通網の整備に向け、鋭意努力されたい。
5. フェリーかけろまの運航については、代船のスロープ設置等を含め、乗客の安心・安全に努められたい。
6. 古仁屋市街地の雨水対策（大島石油周辺等）について、国・県事業等も含めて検討し、早期実施に向け鋭意努力されたい。
7. 景気対策・地域経済の活性化を図るため、更なる公共事業の導入と企業が新たな産業へシフトできるよう、情報提供等の特段の努力をされたい。
8. 救急艇「おおとり」新造船のクレーン設置、水難救助隊及び水上バイクの配備を図ると共に、古仁屋海上保安署の救難業務機能充実を強く要請されたい。
9. 防災行政無線の、戸別受信機の年次的な整備充実に努められたい。
10. 古仁屋高校の振興対策については、更なる学校の努力と町の支援策の推進を図り、町外生徒の受け入れ体制の充実と、積極的なPR活動に努められたい。

編集後記

例年にならない暑い夏の襲来を受けて、みんなが暑い暑いといいいながら過ごした日々もいつの間にか遠のいて、一日一日と秋の気配が深まってまいりました。

若い時は、熱い夏が魅力に思えた時期もあったのですが、年齢とともにやはり落ち着いた秋から冬がいいな、と考えるようになった、きょうこの頃です。

この『議会だより』が、どれだけの町民の方々に読んでもらえているか、気になるところです。

議会報編集委員会

委員長 澤 佳男

副委員長 元井 直志

委員 岡田 弘通

向野 忍

池田 啓一

中村 義隆

町田 孝明